

提言書

小海町議会総務産業常任委員会
小海町議会民生文教常任委員会

令和8年3月

小海町長 黒澤 弘 様

所管事務調査に基づく提言について

小海町議会各常任委員会においては、町政の重要課題に対し、それぞれ特定のテーマを掲げて調査・研究を重ねてまいりました。

このたび、その調査結果に基づき、町のさらなる発展と住民福祉の向上に資するため、必要と考えられる施策を提言いたします。

町におかれましては、本提言の趣旨を十分に汲み取り、今後の行政運営に最大限反映されるようお願いいたします。

令和8年3月18日

小海町議会議長 篠原 哲雄

総務産業常任委員長 黒澤 敦史

民生文教常任委員長 渡邊 晃子

I. 総務産業常任委員会

テーマ「森林資源の持続的な保全・活用と地域林業の振興について」

小海町における森林所有者の高齢化や再造林費用の負担増、担い手不足といった課題を踏まえ、以下のとおり提言する。

1. 林業事業者の意欲向上と事業継続を支える仕組みの構築

小規模事業者が参画できる町有林の活用や緩衝帯整備等を確保し、地域における役割を明確化した事業参画の仕組みを検討し、担い手の確保・育成と持続可能な森林管理体制を構築すること。

2. 林業経営を支える林道・作業道の計画的な整備促進

効率的かつ安全な森林施業を推進するため、林業経営に適した箇所を優先し、林道および作業道の整備を計画的に進めること。

3. 再造林への支援強化による森林資源循環の確立

森林所有者の負担軽減や事業体確保に向けた支援を強化し、主伐後の再造林を確実に履行させる環境を整えること。

4. 森林環境譲与税の効果的な活用

再造林支援、人材育成、地域材利用の促進等に積極的かつ効果的に活用し、特に放置森林の抑制に向けた整備を加速させること。

5. 地元産木材の利用拡大と情報発信の強化

公共建築物への地元産材の優先利用を推進するとともに、林業の意義について町民への広報を強化し、町全体で森林を育てる意識の醸成を図ること。

Ⅱ. 民生文教常任委員会

テーマ「こども家庭センターの設置と相談支援体制の充実について」

令和6年度からの設置が進む「こども家庭センター」の構築にあたり、先行自治体の事例を鑑み、以下のとおり提言する。

1. 専門職の確保と広域連携による相談体制の強化

保護者・児童、さらに保育所・学校職員が常時安心して相談できる体制を整備すること。特に専門職の確保については、南部5か町村や佐久穂町との広域連携、県や広域連合の支援を最大限に活用すること。

2. 関係機関の情報共有と連携の緊密化

保健・福祉・教育等の各部署および外部機関が迅速に情報を共有できるネットワークを構築し、早期発見から継続的な支援へとつなげる包括的な支援体制を確立すること。

3. 既存制度の周知と円滑な情報提供の推進

各種支援制度や補助事業について、デジタルツール等の活用を含め、町民が必要な時に迅速かつ分かりやすくたどり着けるよう広報を工夫すること。

4. 先進事例の調査に基づく「後発メリット」の最大活用

全国で約7割の自治体が設置済みである現状を活かし、先行事例の成功と失敗を徹底的に分析することで、本町にとって最も効率的かつ効果的な運営モデルを構築すること。